

けいぞく ちから
継続は力。

いっかいれんしゅう
一回練習しただけじゃ、なかなかうまくいきません。

まいにちつかさ
毎日積み重ねていくことが大切です。

よみうり
読売ジャイアンツ

あかほし ゆうじ
赤星 優志 投手

プロ野球選手で読売ジャイアンツ所属の赤星優志投手にインタビュー。世田谷区内の小・中学校を卒業されています。小学校1年生のときから始められた野球を通して培われたことや、子どもたちへのメッセージを語っていただきました。

Profile

1999年7月2日生まれ、23歳。東京都世田谷区出身。日大鶴ヶ丘高校時代、エースを務めた3年夏は西東京大会4回戦で敗退するなど、甲子園出場なし。日本大学では、4年春に東都2部リーグで3勝1敗と活躍し、チームを1部リーグ昇格に導いた。2021年秋のドラフトで3位指名され、読売ジャイアンツに入団。1年目の2022年は、開幕3戦目の中日戦（東京ドーム）でプロ初登板・初先発を果たすなど、31試合に登板して5勝5敗、防御率4.04。右投右打。背番号31。



しょうがっこう ねんせい ぼく やきゅう
小学校1年生で始めた野球。「僕には野球しかなかった」

ようしゅう き
一幼少期はどのように過ごされていましたか。

基本は外で遊んで過ごしていましたね。外で走り回っていた思い出が一番あります。

学校ではサッカーや鬼ごっこをしたり、一人のときは学校が終わってから公園に行き、壁に一人でボールを投げるといったのをしていました。

いけいりしゅう みほくちゅう そつぎょう
一池尻小と三宿中を卒業されていますが、印象に残っている先生はいますか。

中学校のときの野球部の顧問の先生です。野球経験のない先生だったんですけど、いろいろ僕たちのために、野球について勉強してくださって、練習も見てもらって、それはよく覚えています。

せんせい はな ことば いんしやうぶが ことば
一先生が話された言葉で印象深い言葉はありますか。

野球部の最後の大会が終わった後に、先生から「優志のおかげで都大会に出ることができたよ」と言われたときは、すごくうれしかったですね。

ピッチャーを始められたきっかけはなんですか。

僕は小学校1年生でチームに入って、2年生からピッチャーをやっていたんですけど、2年生のときは僕が入っているチームに人が全然なくて、ギリギリの人数でやっていたので、ピッチャーをできるのが僕しかいなかったという理由で始めました。

ピッチャーをやりたいという気持ちは野球を始められたときからありましたか。

そうですね、やっぱりピッチャーが野球の中では一番目立つポジションというか、カッコいいポジションだなと思っていたので、ピッチャーに憧れていたというか、そういう気持ちはあったと思います。

一ハードな練習や、試合で打たれてしまったりと、野球人生の中でつらいこともあるかと思いますが、それをどのように乗り越えてきましたか。

僕には野球しかなかったというか、野球するしかなかったので、野球は生活の一部で、打たれても、きつくて野球をやるっていう感じですね。

プロ野球選手として感じるプレッシャー。原監督から受けた助言。

プロ野球選手としての生活が始まってから感じられたことはありますか。

プロはプレッシャーがすごいっていうのをいろんな人から聞いていましたが、実際プロ野球選手になってみると、本当にいろんなプレッシャーを感じました。周りからもそうですし、自分でプレッシャーをかけてしまっている部分もあるので、そこがプロとアマチュアの違いかなのというのは実感しています。

一そういった大きなプレッシャーを乗り越えるために心がけていることはありますか。

やっぱり練習して、自信をつけて、試合に臨むというのが一番かなと思います。

一原監督からはどのような助言を受けられましたか。

原監督から「自分で考えて行動して、結果が出て、それが自信につながる」という言葉をいただきました。この言葉は、野球以外のことにもつながってくると思っています。今は野球に対してその言葉を受け止めていますが、引退したときかには、他のことにもすごくつながってくる言葉なのかなと思います。

一野球を通して培われたことや学ばれたことを教えてください。

一番は継続することの大切さというか、「継続は力」っていう言葉を一番感じています。自分に足りないところだったり、課題だったりっていうのは、一回練習しただけじゃ、なかなかうまくいかなくて、やっぱり毎日積み重ねていくものなので、野球を始めたときから継続することの大切さっていうのを今までずっと感じてきています。

一将来的にどのような選手になりたいかを教えてください。

今後の目標としては、先発でやりたいという気持ちがあります。来年もその先も先発として、一年間仕事ができるピッチャーになりたいと思います。

一世田谷区の子どもたちに向けてメッセージをお願いします。

僕は小・中学校のときは友達とたくさん遊んだり、野球もして、勉強も多少して、いろんなことを満遍なくやったことが思い出として残っています。小・中学生のみんなも、なにか一つのことに集中してやるのも良いと思うんですけど、勉強だけじゃなくて、自分のやりたいことや、友達と遊んだりすることも良い体験になると思うので、いろんなことを経験してほしいと思います。

